

# 大会展望

## ☆男子展望

今大会の優勝候補の筆頭は、昨年度全国選抜大会に出場し、岐阜地区予選を1位で突破した岐阜農林があげられる。全国大会を経験し、選手層も厚く、能力の高い選手が成長している。対抗には、中国人留学生の長身センターを擁し、個々の能力が高い美濃加茂があげられる。得意とするスピーディで破壊力のあるバスケットは健在である。また岐阜地区2位の岐阜総合、岐阜地区3位の富田も、非常にバランスのとれたチームであり、上位に進出してくるであろう。それ以外にも、東濃地区1位の中津川工・飛騨地区1位の高山西など実力は均衡しており、どの試合も熱戦が繰り広げられることが予想される。

Aブロック、第1シードの岐阜農林が最有力である。ガード水口、パワーフォワード田中と昨年から活躍している選手を軸に、粘り強いディフェンスからスピーディーなバスケットを展開するであろう。対抗には、東濃地区2位の土岐商と岐阜地区4位の長良が有力である。

Bブロック、第4シードの富田が有力である。チーム力が非常に高く、信条とする粘り強いディフェンスで上位に進出するだろう。対抗には、東濃地区1位の中津川工、中濃地区2位の可児があげられる。

Cブロック、第3シードの岐阜総合は、個々の能力が高く、粘り強いバスケットで虎視眈々と上位をねらっている。対抗には、飛騨地区1位の高山西、西濃地区1位の大垣東があげられる。中京の活躍にも期待したい。

Dブロック、第2シードの美濃加茂が最有力である。個々の能力、チーム力とも非常に高いチームである。対抗には、飛騨地区2位の斐太があげられる。順当に行けば、この2校がベスト4をかけて戦うであろう。

## ☆女子展望

岐阜女子が選手層の厚さ・個々の能力の高さで群を抜いている。昨年の全国選抜大会ではベスト4に進出し、その大会を経験した下級生も健在で、つけいる隙は見当たらず優勝候補の筆頭である。対抗には、岐阜地区を2位で突破し勢いになっている岐阜総合、機動力のある県岐阜商、総合力の高い高山西があげられる。それ以外にも、チーム力の高い長良・土岐商・大垣商・岐阜農林などがあげられるが、岐阜女子相手にどこまで食らいついていけるか期待したい。

Aブロック、第1シードの岐阜女子が圧倒的な強さでベスト4に進出するだろう。対抗には、西濃地区1位の大垣商があげられる。

Bブロック、第4シードの高山西が有力である。対抗には、東濃地区1位の土岐商があげられる。順当に行けばこの2校がベスト4をかけて戦うであろう。

Cブロック、第3シードの県岐阜商が安定した力を見せ、ベスト4に進出するだろう。対抗には、岐阜地区4位の長良があげられる。

Dブロック、第2シードの岐阜総合が最有力である。対抗には、近年着実に力を着けてきている岐阜農林があげられる。中濃地区1位の東濃実の活躍にも期待したい。